

加賀屋別邸 松乃碧

長谷川等伯の国宝「松林図屏風」写しの庭園。
前田家ゆかりの茶室。角倅三郎美術館。
まさにここは「美術館に泊まる宿」。



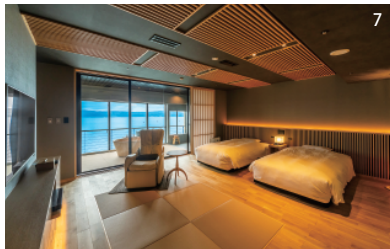
1.日本の粋が旅人を静かに迎え入れる「エントランス美術館」。地元の伝統工芸品が散りばめられた大人の時間を演出する。2.千利休や豊臣秀吉らに重用された長谷川等伯の国宝「松林図屏風」をモチーフにした庭園ガーデン「優土」。3.庭園にある書院の格式漂う茶室。前田家家紋の剣梅鉢紋や鳳凰が描かれた格天井、釣鐘型の火燈窓、床の間の天井の一枚板に施された龍の絵の織物などが往時の面影を偲ばせる。4.館内に移転した輪島出身の工芸家の故 角倅三郎美術館。加賀屋ラウンジ壁面の「天女の舞」も氏の作品である。5.七尾湾に浮かんでいるような女性大浴場「黄昏の湯」水鏡の湯。6.海と松の風景越しに七尾湾を眺めてくつろげるラウンジ・ロビー。7.広さ約116㎡。オーシャンビューで温泉を備えた展望風呂付特別室が2室用意されている。8.さながら「皿の上の一期一会」。日本海の恵みを活かし、季節感を演出した料理（一例）。



七尾湾と空がひと続きになって青緑に融けあう。まさに「水天一碧」の絶景とともに心尽くしのおもてなしの世界へといざなう加賀屋別邸松乃碧。ラウンジロビーから眺めれば、そこに松、海そして空。七尾出身の画家、長谷川等伯の代表作、国宝「松林図屏風」をモチーフとした「庭園ガーデン 優土」が美しく佇む。

庭園の一角には茶室「得寮庵」。前田家十四代藩主慶寧公の四女、慰姫様のお行儀見習いの場として江戸末期に建てられたお茶室の一部が移築されている。加賀の美意識に圧倒されることだろう。

別名「美術館に泊まる宿」。空間全体に輪島塗や九谷焼などの伝統工芸品が散りばめられている。大柱にも艶を放つ椀がディスプレイされている。愁眉は輪島出身の工芸家、故角倅三郎氏の美術館だ。「漆器の原点を追い求めながら現代の漆器を創った人」と称されるように角倅三郎という大きな山なくして現代の塗物を俯瞰することはできないという。代表作の合鹿椀やへぎ板、お重、再現された工房、沈金のパネルや書など、輪島の職人たちと向き合う中で生まれた珠玉の作品や創作世界に、この地が培ってきた文化の奥深さを垣間見る思いだ。



眺め豊かなひとクラス上の空間や温泉加賀屋ならではの味の贅を心ゆくまで。客室は全室が七尾湾を眺める静寂な大人の空間。和室と和洋室、5室の温泉露天風呂付特別室。いずれ劣らぬ設備である。特別室や男女大浴場で親しむ温泉は、この地に千二百年前から伝わる良質泉。眺めや浮遊感にも癒される。

食事は加賀屋が長年培った和食の調理技術を受け継ぎながら新たな試みも取り入れた逸品尽くし。日本海の旬の幸や旬の食材にこだわった料理の数々は器使いも見事で、彩りの中に季節感までも演出されている。「美術館に泊まる宿」。伝統文化も癒しと心得る。大人の宿である。

建物/鉄筋5階建 客室/和ベッド10、和洋室19(内、露天風呂付5、計29室)、全室バス・トイレ付 食事/夕食・朝食:和食 食事場所/夕食・朝食:料亭(個室) 館内施設/コンベンションホール(40人)、料亭(25室)、バー、ティーラウンジ、売店 料金/49,500円~58,300円(税込、入湯税別) チェックイン15:00、チェックアウト11:00 Wi-Fi/全館 禁煙・喫煙/全館禁煙・指定喫煙所有り

所在地/〒926-0175 石川県七尾市和倉町ワ部34番地 電車/JR七尾線と和倉温泉駅下車、送迎バスで約6分 自動車/北陸自動車道金沢森本ICから、のと里山海道約70km 飛行機/能登空港からタクシー約50分 駐車場/乗用車50台 送迎/和倉温泉駅から(要予約) TEL:0767-62-8000 TEL: 0767-62-8001 www.matsunomidori.jp

北陸初、その都度のチェックが必要ない独自のインクルーシブシステム

宿泊料金には●ロビーラウンジでのドリンク・フルーツ●お茶(呈茶)●客室冷蔵庫内の各種ドリンク●湯上がりサロンでのドリンクやアイスクリーム●食事処での夕食・朝食時のお飲物●バーでのドリンクと夜食●加賀屋グループ旅館での温泉湯めぐり、が含まれている(※特別な物は別途料金が生じる場合があります)。